

目指すは会社に必要な人材

躍進する 第844回 女性陣

川崎市や横浜市を拠点に物流サービスを展開するFast substance logistics (松代早実社長、川崎市高津区)で管理部の主任を務める樋渡優花さん



Fast substance logistics
樋渡優花さん

ん。高校の商業科を卒業後、新型コロナウイルスのワクチンを配送する仕事に就いたことが物流との出会いだっ

た。コロナ禍が落ち着い

た後も、引き続き物流の世界に身を置くことを決意。同社の前に勤めていた会社では、配送の現場のほか、キャリアを活かして事務仕事もこなしていた。松

代社長と出会い、同社への入社後は経理や総務など事務仕事や入社希望者の対応を担当。高校で学んだことが仕事に役立っており、「もっと勉強しておけ

ばよかった」と苦笑する。

事務の仕事は現場とは違った達成感があり、やりがいを感じている。会社のオフィシャルSNSも担当しており、社長に続く「会社の顔」としての役割も担う。県トラック協会の青年部会に所属するなど活躍を社外へも広げている。

学生時代は長年バレーボールに打ち込んできた。今でもプレイしたいが、なかなか機会がないことが悩み。仕事以外でも、会社の仲間とサバイバルゲームに挑戦するなど、何でもアクティブに取り組みタイプだ。最近は特にゴルフに魅力を感じているという。「業界の方とまわるという話がある」とし、腕を磨いている。

同社で働く魅力は、「何事もチームで取り組める」と話す。トップダウンではなく、社員が協力し合っ

て乗り越えていく社風は、仕事へのモチベーションにつながるという。さまざまな業務に携わる機会が得られることは同社のような若い会社ならではの。「今はまだ教えてもらいながら仕事をしている。一人で何でもできるようになりたい」と意欲を燃やす。「会社にとって必要な人材」を目指して挑戦は続く。